

災害ボランティアを通じて

商業科3年 飛田 朋美

私がボランティアに参加して感じたことは、その被害の大きさでした。大通りはもう既にきれいになっていて、そのひどさを感じることはありませんでしたが、一歩細い道に入れば、道端に瓦礫などが山積になっていて、地震がおきた直後の悲惨さが目に浮かぶようだった。特に、海岸付近の様子は言葉にならないほどひどいものがあった。倒壊した家や中がめちゃくちゃになっている旅館などを見ると、改めて津波の恐ろしさを感じた。

また、私は今回のボランティア活動で、もう一つ感じたことがある。それは、その地域に住んでいる人々のたくましさだ。瓦の片づけをしていると明るく「ありがとうございます」と話しかけてくれた。こんなにもひどい状況の中で、明るくそこに住み続ける強さを感じた。

復興まで10年はかかると言われているこの大震災の中で、ボランティアが出来たのは本当に貴重な体験だったと思う。今後も、復興のために少しでも協力できたらいいと思っている。